

令和4年度 長野県公立高等学校入学者選抜における学校別実施内容一覧（案）

- (表の見方)
- 「募集」欄は令和3年度(2021年度)入学者選抜の募集学級数です。令和4年度入学者選抜の募集学級数は11月に発表する予定です。
 - 前期選抜の募集率%の数字は募集人員の上限を表しています。
 - 第2志望欄の○印がついている学科間においては相互に第2志望を認めます。(学校により第3志望まで認める場合があります。)
 - 傾斜配点欄は実施する教科および倍率です。
 - 再募集欄は前期選抜及び後期選抜において募集定員に満たなかった場合の実施予定内容です。
 - ｝はくくり募集をする学科です。
 - 空欄になっている箇所については実施しません。
 - 後期選抜ではすべての公立高等学校が学力検査を実施します(ただし、通信制課程は除きます)。
 - 小論文Aは与えられたテーマに関して一つの論文として答える形式、小論文Bは与えられたテーマに関して論理的に構成されたいくつかの設問に答える形式です。

1 全日制課程

(1) 前期選抜および後期選抜

番号	高校名	学科	募集	前期選抜（自己推薦型選抜）					後期選抜（一般選抜）							
				募集率%	募集の観点	志願理由書(自己PR文)	面接	作文(小論文)	実技検査	志願理由書(自己PR文)	面接	作文	実技検査	傾斜配点	第2志望	
27	坂城	普通	2	40	【観点1】 の①・②を満たし、 【観点2】 の①・②のいずれかを満たす者。 【観点1】 ①坂城高校の教育内容を理解し、明確な目的と意欲を持って坂城高校に入学を希望する者。 ②中学校生活において、基本的な生活習慣・学習習慣が確立しており、特に、授業への出席状況が良好であり、基礎基本の学力が身につけている者。 【観点2】 ①高校入学後も、進路実現に向けて意欲的、継続的に学習活動に取り組む意欲がある者。 ②生徒会活動や部活動、地域活動で中心となって活動する意欲がある者。(中学校での活動は実績として考慮する)	募集の観点に沿った、いくつかの項目(高校入学の目的、坂城高校を志望する理由、中学校での様子など)について具体的に記述する。	募集の観点に沿ったいくつかの項目について面接する。 <個人面接10分程度>					志望動機・学習意欲・高校生活への抱負などについて個人面接を行う。				

(2) 再募集

(表の見方) 志願理由書から実技検査欄については、前期または後期選抜において実施する内容と同じかそれに準ずる場合は○印がついています。

番号	高校名	学科	募集	再募集					
				志願理由書(自己PR文)	面接	作文(小論文)	実技検査	傾斜配点	第2志望
27	坂城	普通	2		○				

令和4年度 長野県公立高等学校入学者前期選抜における評価方法一覧(案)

(はじめに) 前期選抜においては、調査書と面接に加えて、各高等学校が指定した選抜資料を総合的に評価して合否の判定が行われます。ただし、各校が事前に示した「募集の観点」により、特定の資料を重視することがあるため、おおよその比重および評価項目について、各校ごとの一覧表にまとめました。

(表の見方) 1 「観点別」欄は同一学科内において「募集の観点」で示した区分や受検の型等により評価方法が異なる場合には分けて表しています。
2 「調査書」から「実技検査」欄の「比重」の数値は、それぞれの資料が総合判定においてどの程度重視されるのか、その目安を百分率で表しています。

評価点を示したものではなく、合計して合否を判定するわけではありません。

また、複数の選抜資料の相関関係を見ながら総合的に判定する場合は、備考欄において解説しています。

- 3 「調査書」から「実技検査」欄の「項目等」の内容は、それぞれの資料において重視する項目を表しています。
- 4 「調査書」はすべての記載内容を判定資料としますが、特に重視する項目については「項目等」欄に表記しています。
- 5 事前に提出された「志願理由書」の記載内容については、調査書及び面接の参考にします。
- 6 「調査書」の学習成績における評定値を示す場合は目安として示しています。

※ 令和4年度入学者選抜において、前期選抜を実施しない学校・学科については掲載してありません。

番号	高校名	学科	観点別	評価方法	調査書	面接	作文(小論文)	実技検査	備考
				比重					
27	坂城	普通		比重	60	40	—	—	調査書、面接により総合的に判断する。
				項目等	基本的な生活習慣 (出席状況等) 学習成績 学校生活での活動 状況	志望動機 意欲 態度 表現力			